

ステーションサービス LINE

No267.

発行 2026.3.12
東日本旅客鉄道労働組合
ステーションサービス協議会

申2号「2026年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」 第1回交渉



組合員・アンケートの声を会社へ訴えました



【生活実感】▼子供の養育費用、保育園代、趣味、食費、光熱費、介護等全ての生活費が値上げしている▼どう生活していけばいい？▼趣味になかなかお金を使えない▼物価が値上がり、食費、光熱費の高止まりが続き食べていだけで精一杯▼泊まりの日は、職場で自炊するなどしてなるべく出費を抑えている▼ローン返済が金利変更で長期化してしまう▼ボーナスを貯金して、少しずつ毎月切り崩して生活している▼定期昇給額が低すぎる▼全てのものが値上がりしている中でベースアップ1万円では全然足りない▼泊まりの仕事なのにそもそもの給料が低い▼生活費の高騰と昇給があてられない▼子供が大きくなるにつれて貯金ができない▼30代後半で手取りが20万前半で実家から離れる事が難しく、今後の不安を感じ、常に転職を考えている状況▼現在の給料は20万を切っている。趣味と貯金を両立し、一人暮らしなんか到底できない

組合員・社員の職場の声を受け止め、満額回答すべきだ

【定期昇給】▼ステーションサービスの定昇は、1等級で1000円JR東日本の係職の定昇にも及ばない▼低賃金で離職が止まらない会社の現状を改善していくために、ベアで波及効果を創るべきだ▼定期昇給額が低すぎる▼そもそも低い給料と全くない手当の中で働いているのだから、定期昇給額の引き上げベースアップに会社側が動くべき▼「定期昇給額の低さ」への組合員・社員の不満の声が増加している▼ただでさえ低い賃金に加え、新卒と1000円しか賃金が変わらなかつたら、モチベーションも保てない▼年一回の昇給額がただただ少ない。労働者を舐めているのか▼この昇給額で何十年も働いていると思っている上層部が理解できない▼働く気力が失せる。人件費削減のために作られた会社なのか

【上限額・ゾーン2の撤廃、離職・人材流出など】▼受けた研修で「主任職社員は、職場の要」と言われたが、その要となる社員が流出しているのは、由々しき事態である▼「リーダー職にも合格せず、将来が見通せない」という意見の他、短期間に2度の異動があり、会社に不信感を抱いた▼上限額が決まっていること、在籍年数を超えるとゾーン2になることは、会社に「役立たず」と言われているようだ▼業務スキルは高く主任職以上の働きぶりで、3等級でゾーン2に達する社員が複数名いる▼最近では主任職試験が創設されてしまい、3等級でふき溜まるようになってしまった

《会社の見解》

昨今の物価高も含め、取り巻く環境から総合的に勘案して判断する。2018年から7・8年経ち、未来永劫のものではない。

モチベーションの最たるものは賃金である！満額回答で職場の苦勞と努力に応えるべきだ！上限額の撤廃、ゾーン2の撤廃、定期昇給額を増額し、JESSで働くことにPRIDEを持てる回答を！！

満額回答



～JR東労組ステーションサービス協議会 26春闘申し入れ内容～

1. ベア一律18,000円
2. 定期昇給を実施すること。（昇給係数は4）
3. 各等級の上限額を撤廃すること。
4. 各等級のゾーン2を撤廃すること。
5. 各等級の所定昇給額を増額すること。
6. 回答については、2026年3月31日まで

アンケートに回答いただいたみなさん、ありがとうございました!!

ステーションサービス協議会に対する
質問や意見などはこちらまで



JR東労組お問い合わせフォームはこちら！